

草木染・絹糸の染色方法の基本①

天然染料の量 【糸の重さに対して1:1】糸の重さに対して100%

水の量 【糸に対して40倍】糸のg数が少なく水の量が適量にならない場合80倍などでも可。

1. 地入れ

糸をお湯に浸す。※目安 40℃

2. 色素の抽出

①沸騰してから20分、染料を煮出す。※染料は常温から入れておきます。

③ゆったりと染料がつかくらい水を入れて煮る。

④布などで染料をこす→染液の完成。

※コチニールなどは少量で濃く染まるため染料の量を調節

糸の色の濃さは天然染料の量で決まります。基本を100%とし、お好みの濃度で色々お試しください。

3. 染色

60℃→80℃（約60℃から糸を入れ動かし染める）

80℃になってから 20分 染色する。

4. 水洗い

【お湯×2】→【水×2】で余分な色素を洗い出す。（洗いの回数は多くても良い）

5. 媒染

①糸の重さ×50倍のぬるま湯。糸のg数が少なく水の量が適量にならない場合80倍などでも可。

②糸の重さの5%～10%の媒染液を加え良くなじませる ※鉄の場合は2%～5% 常温(水)で媒染

③糸を入れゆったり動かし媒染する(10分～30分)ぬるくなっていてもよい。

6. 水洗い

媒染した糸を【水かぬるま湯】で水を変えて4回ほど洗い、

余分な媒染（金属）を洗い出す。（洗いの回数は多くても良い）

草木染・絹糸の染色方法の基本②

7. 2度目の染色

60℃→80℃（約60℃から糸を入れ動かし染める）

80℃になってから 10分～20分 染色する。

8. 放冷

染液に糸を入れたまま常温まで放置。

ムラにならない様に時々糸を動かす。染液から取り出して糸をさばく。

9. 水洗い

【お湯×2】→【水×2】で余分な色素を洗い出す。（水洗いの回数は多くても良い）

10. 乾燥

竿などに干して乾かす。

※より濃色に染めたい場合は乾燥後①～⑩を行う。

※赤色染色（茜・コチニール等）は
先媒染で染めるのが基本 【①→②】→【⑤～⑩】